

今後に活かせ!!

令和元年度決算を認定

一般会計歳出総額 263億円

◎決算審査特別委員会◎

- ◆ 決算審査特別委員会設置 令和2年9月15日
決算審査特別委員会 18人（議長・監査委員を除く議員）
委員長 伊地知 厚仁
副委員長 上村 龍生
- ◆ 各分科会に分かれ、所管ごとの専門的な審査が行われました。
（現地調査を含む）
総務分科会 令和2年9月23日～28日（4日間）
文教厚生分科会 令和2年9月23日～28日（4日間）
建設経済分科会 令和2年9月18日～25日（4日間）
- ◆ 決算審査特別委員会 令和2年10月6日
- ◆ 令和2年10月13日に審査した結果を本会議において認定すべきと報告を行いました。

1万円未満切捨て

| 会計名 | | 歳入決算額 | 歳出決算額 |
|--------|--------------|-------------|-------------|
| 一般会計 | | 272億3,491万円 | 263億3,008万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 57億1,524万円 | 55億9,757万円 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 5億5,697万円 | 5億5,608万円 |
| | 介護保険特別会計 | 56億4,653万円 | 55億5,973万円 |
| | 公共下水道事業特別会計 | 2億4,196万円 | 2億3,898万円 |
| | 生活排水処理事業特別会計 | 8,645万円 | 8,534万円 |
| | 笠木簡易水道事業特別会計 | 4,531万円 | 1,501万円 |
| 水道事業会計 | 収益的 | 4億9,761万円 | 4億5,794万円 |
| | 資本的 | 3億4,296万円 | 4億6,345万円 |

総務常任分科会

宅地分譲整備事業



問 大隅北の坂元地区宅地分譲地はまだ1区画も売れていない状況では。

意見 土地の寄附者の意向を尊重して、分譲地に早く住宅が建つように無料に近い価格にすべきである。



クリーンセンターの改修工事



問 クリーンセンターの改修工事後の稼働状況は。

答 月に21日、1日当たり8時間稼働している。1基で、1日12tの処理能力があり、2基で最大24t処理できる。最近の傾向として、空き屋の片付けによる畳やタンス、布団等の粗大ごみが増えている状況である。土曜日の搬入が多く、多いときで1,600台の搬入があり、コミュニティFM等で搬入日の分散化の放送をしているが、なかなか解消していない状況である。

意見 次の改修の時期が来るまでに他市との広域化も含め、今後検討すべきではないか。また、焼却炉の延命化を図るため、市民へごみの分別、資源化等による減量化の理解と協力が得られるように努めるべきである。

免許証自主返納者に対する 思いやりバス・タクシーの無料乗車券



問 免許証自主返納者に対する思いやりバス・タクシーの無料乗車券交付は、3年間で5年間に延長されたが、その内容は。

答 令和2年4月1日以前に無料乗車券を取得された方のうち、まだ有効期限が残っている方については、3年間の有効期間に2年間を延長した有効期間とし、既に3年間の有効期間が終了した方については、10月1日以降、2年間が無料期間となる。

消防団員の定数



問 消防分団員数が年々減ってきているが、団員数と平均年齢は。

答 団員数は620人の定数に対し580人、平均年齢40.59歳である。

問 市役所職員の消防団員数は。

答 現在、44人である。

文教厚生分科会

曾於高校支援策



問 曾於高校アンケート結果と支援策についての方針は。

答 中・高生や保護者へアンケートを実施したところ、高校進学を決定する際に何を重要視するかという設問で、調査結果から市の支援策である大学等進学祝金贈呈事業が曾於高校へ進学を決める上での重要項目ではないことが分かったため、令和3年度以降は進学祝金事業を縮小または廃止し、全学科・全生徒に対する学習支援システムの導入など学習支援制度の切り替えを検討したい。

意見 今後は大学進学祝金など卒業後の支援策より、在校生に対する支援策に切り替えるべきではないか。

救急医療センターの利用状況



問 曾於医師会立病院と都城市郡医師会立病院の利用状況は。

答 曾於医師会立病院と都城市郡医師会立病院の近年の患者数は、曾於医師会立病院が都城市郡医師会立病院の約2.5倍で、医療費は両病院がほぼ同額で推移している。

意見 曾於医師会立病院の医療環境が充実していないために、より高度・高額な医療サービスを都城市郡医師会立病院で受けている傾向があり、曾於医師会立病院の充実・強化に向けて、力を入れるべきではないか。

学校整備



問 学校設備事業の内容は。

答 移転予定の岩川小学校を除く、小学校19校の空調設備設置工事と、耐震補強のため6校の屋内運動場非構造部材耐震化改修工事に約5億6,000万円、中学校3校に約1億3,200万円であった。また、岩川小学校移転先の旧岩川高等学校校舎煙突石綿除去工事、約2,500万円も含まれている。

教職員住宅



問 老朽化が進んでいる所は。

答 岩川小・大隅中学校長住宅が痛んでいる。建て替えると1棟1,800万円ほどになる。

意見 教職員住宅に住むか、民間の借家を借りるかを教育委員会として方針をもつべきではないか。

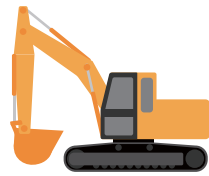
建設経済分科会

中津橋災害復旧（末吉町橋）



問 いつ頃に完成の見通しか。

答 令和3年3月に完成し通行できる見込みである。



道の駅の売り上げ



問 道の駅の売り上げが2年連続で減少しているが。

答 出荷者の高齢化により品揃えが消費者に満足できない部分や、品不足が発生している。農土家市においては東九州自動車道の鹿屋までの開通による影響が出ている。

市道笠木・かんじん松線 道路改良工事



社会資本整備事業の区間は完了したとの説明があった。

意見 今後辺地対策事業での早急な完了を目指し危険個所の解消に努めてほしい。



花房峡憩いの森管理費



問 工事費の不用額が多いのでは。

答 バンガロー新築工事の内容を変更したためである。

意見 事前に減額補正することが望ましい。